

2020年度 事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 東京盲ろう者友の会

1 事業の成果

盲ろう者（視覚と聴覚に障害を併せ持つ者）の福祉を増進し、盲ろう者の自立と社会参加を促進するため各種事業を実施した。

主な内容は、盲ろう者へ支援を行う通訳・介助者の派遣、「東京都盲ろう者支援センター」の運営、通訳・介助者を養成する講習会や研修会の開催、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業及び特定相談支援事業、介護保険法に基づく居宅サービス事業、児童福祉法に基づく障害児相談支援事業等の事業を行った。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、盲ろう者の社会参加促進事業や通訳・介助者等の養成研修事業などの中止・延期を余儀なくされた。また、感染の不安から盲ろう者の外出機会が激減し、通訳・介助者派遣事業の利用は半減した。

その一方で、養成研修に関しては、後期からはオンライン方式を導入し、これまでと同等の質の人材を育成できるよう努めた。また、盲ろう者や通訳・介助者の感染予防のため、「新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金」の助成によりマスク及び消毒液を配布し、新たに作成した『盲ろう者と通訳・介助者のためのガイドライン』を、盲ろう者や通訳・介助者はもちろん、広く社会に向けても周知した。

2 事業の実施に関する事項

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、全く活動がなくなったものは「※中止」と記載した。

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用 【 142,644 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
1、通訳・介助者の派遣に関する事業	(1)通訳・介助者を30,284時間派遣	通年	都内	515人	主に都内の盲ろう者	147人	68,289
	(2)行政や外部団体向けに通訳・介助者を90時間派遣						
2、通訳・介助者の養成に関する事業	(1)通訳・介助者を養成する講習会を開催		東京都盲ろう者支援センター、東京都障害者福祉会館等	60人			11,441
	1) 必修科目	7～8月、10～11月 2コース			受講生	46人 (うち修了者42人)	
	2) 選択科目	1～3月 6科目			受講生及び通訳・介助者	177人	

	(2)現任の通訳・介助者に対する研修会を開催	9、3月			通訳・介助者	30人	
	(3)同行援護従業者養成研修会(一般課程)の開催	3月			通訳・介助者	10人 (うち修了者10人)	
	(4)八王子市通訳・介助者養成講習会(ローマ字式指文字)の開催	9~10月			受講生	8人 (うち修了者8人)	
	(5)職員の講師派遣	2月			受講生	2人	
3、盲ろう者の自立支援、社会参加促進及び広報啓発に関する事業	(1)自立支援訓練を提供	通年 (計104回)	東京都盲ろう者支援センター等	35人	盲ろう者	のべ27人	34,237
	1) コミュニケーション訓練	25回				1人	
	2) パソコン等電子機器活用訓練	62回				8人	
	3) 生活訓練	8回				3人	
	4) 多摩地域での集団訓練	9回				15人	
	(2)盲ろう者に専門的に対応できる人材を養成するための研修会及び講習会を実施	2コース (計3回)			受講生	計73人	
	1) 盲ろう者福祉ワーカー研修会 ※オンライン	2月2回				45人	
	2) 盲ろう教育研修会 ※オンライン	12月1回			28人		
	(3)総合的に相談支援を実施	通年			盲ろう者及び家族、関係者	のべ226人	
	1) 面接、電話、FAX、メールなどでの相談支援	通年 (329件)				219人	
2) 弁護士による法律相談会	10月1回	5人					
3) 視覚障害者向け聞こえの相談会	10月1回	2人					

(4)盲ろう者の社会参加を促進するために、交流会や学習会を開催	通年 (計74回)
1) 全体交流会	※中止
2) 歩む会 (東部地区ミニ交流会)	2回
3) 国立サークル (西部地区ミニ交流会)	5回
4) 手話サークル (浅草橋・三田)	7回
5) 指点字サークル (第一・第三)	8回
6) 生活技術向上学習会	52回
(5)啓発パンフレット・チラシの配布	通年
・『知ってください 盲ろうについて』390部	
・『視覚障害者の方へ 聞こえにくくなったと感じたら』20部	
・『聴覚障害者の方へ 見えにくくなったと感じたら』40部	
(6)行政との連携	
荒川区と下記事業を共催	
1) 「盲ろう者支援研修会」	※中止
2) 「荒川区交流会」	※中止
(7)各種障害者関連イベントへの出展	
※イベントが中止になったため、出展せず	
(8)盲ろう者の三療についての研究会	※中止
(9)広報誌『てのひら通信』配布	通年

	のべ 538人
	-
参加盲ろう者及び関係者	16人
	77人
	93人
	114人
	238人
盲ろう者、支援者、関係機関等	多数
盲ろう者、支援者、関係機関等	多数

	(10)盲ろう関連書籍の販売	通年			盲ろう者、 支援者、関 係機関等	多数	
	(11)WEBサイト、フェイス ブック等での情報発信						
	(12)実習生の受入	※受入中 止			-	-	
	(13)新型コロナウイルス感染 症：拡大防止活動基金						
	1) マスクと消毒液の配布	6~11月			盲ろう者、 通訳・介助 者	974人	
4、障害 者総合支 援法に基 づく障害 福祉サー ビス及び 特定相談 支援に関 する事業	(1)障害福祉サービス事業の実 施	通年	都内	220 人	主に都内の 盲ろう者	43人	27,722
	(2)特定相談支援事業の実施					16人	
	(3)研修会の実施	3月			同行援護従 業者	207人	
5、介護 保険法に 基づく居 宅サービ スに関す る事業	(1)居宅サービス事業の実施	通年	都内	70人	都内の盲ろ う者	1人	875
6、児童 福祉法に 基づく障 害児相談 支援に関 する事業	(1)障害児相談支援事業の実施	通年	都内	5人	なし	0人	80

(2) その他の事業

(事業費の総費用 【 160 】 千円)

定款に記載さ れた事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)
自動販売機運 営事業	飲料自動販売機の運営 (城東職業能力開発センター、レイン ボーブリッジ、多摩療護園、豊洲市 場)	通年	都内4カ所	3人	160